

「Protecting Golfers and Course Staff Amid Coronavirus Outbreak」抜粋

4月、「米国ゴルフ財団」(National Golf Foundation)は、ゴルファーと従業員の安全を守るための優良な施策リストを作成して発表しました。

NGFは、この発表の前提として「ゴルフは、グループであっても、プレーヤー間やゴルフ場スタッフ間での密接な身体的接触がなくても楽しむことができるため、社会的距離の概念に本質的に一致」としています。

【ゴルフ場運営】

- ・従業員保護のために予防措置(マスク・手袋の配布、消毒剤等)を準備して設置。
- ・従業員とのミーティングを頻繁に行い、情報、施策、運営手順等を全員に周知。
- ・従業員とゴルファーは身体的距離(6フィート)を保つ。
- ・従業員は、頻繁に石鹸と水で少なくとも20秒間手洗いし、ペーパータオルで拭く。
- ・支払い、電子マネーやクレジットカードとする。(前払い可とし、現金は不可)。
- ・受付は、ゴルファーとの接触を避けるためにリモートチェックインか、飛沫防止スクリーン設置。
- ・作業エリア・顧客との接触エリア・タッチポイントは、こまめに消毒。
- ・スタート間隔を12分~20分とし、ティーグラウンドに同一組のゴルファーしか近づかないよう要請。
- ・ゴルファーには、カートに乗るのではなく歩くことを奨励し、使用カートは消毒。
- ・練習グリーンをピンを撤去。

【コース設定】

- ・グリーンカップは、ゴルファーがゴルフボールを拾う必要をなくすようにする。
- ・旗竿を撤去し、ゴルファーにはホール位置を示すピンポジションシートを渡す。
- ・バンカーレーキを使用せず、ゴルファーが自分の足でバンカーを均すことを奨励。
- ・スコアカード、鉛筆、ゴルフティー、ボールマーカー、ディボット修理用具を撤去。
- ・ウォータークーラーとゴミ箱を撤去。
- ・練習場では、身体的距離(6フィート)の確保を要請。全ての練習ボールを消毒。

【ゴルファーへの要請】

- ・同居人以外のゴルファーと同乗して来場しない。
- ・プレー前、プレー中、プレー後の身体的距離(6フィート)の遵守を要請。
- ・プレー前、プレー中、プレー後に使用するための抗菌性布・ティッシュ・手指消毒剤を持参するよう要請。
- ・ゴルフバッグはご自身で処理することを要請。 ・徒歩でのラウンドを勧める。
- ・旗竿やカップには触れないよう要請。
- ・バンカーレーキ、ボールウォッシャー、ウォータークーラーなどに触れないよう要請。
- ・グリーンやティーグラウンドなどで、集まらないよう要請。
- ・ラウンド終了後は、パートナーと握手をしない。 ・ラウンド終了後は、直ちに帰宅するよう依頼。
- ・このパンデミック状況の中でゴルフができることは、あなたにとって素晴らしいチャンスであり、同時に責任もありますから、行動には十分注意してください。

【食事と飲料】

- ・全ての飲食事業を閉鎖することを検討してください。
- ・飲食の営業を継続することが許可されている場合は、テイクアウトかデリバリーのみとしてください。
- ・テイクアウトの注文を除いて、レストランの利用は中止してください。
- ・顧客が自分の軽食を持参することを許可し、全ての「外部の飲食物」の利用を許可してください。

【メンテナンススタッフ】

- ・スタッフが固まって集まらないようにシフトをずらしてください。
- ・コース管理施設内では、従業員が身体的距離(6フィート)以上離れているようにしてください。
- ・使用する機器類はメンテナンス作業員それぞれに割り当てて、共有しないでください。

「新型コロナウイルス感染症」対策として導入されている施策事例

営業継続を選択されたゴルフ場においては、「新型コロナウイルス感染症」の感染リスクを最小限とすべく、様々な施策を導入されていることとご拝察申し上げますが、他ゴルフ場で実施されている施策をご紹介申し上げ、ご参考にして頂ければと存じます。

ゴルファーの心理は、「不要不急の外出自粛」を要請されているために、長時間の外出はできる限り避けたいとの思いがあるようです。したがって、「9ホールプレー」や「18ホールスループレー」等の「短時間プレー」のニーズが高まっているようです。

(「短時間プレー」の認知が進めば、「ゴルフ普及」に繋がる可能性もあります。)

【プレイスタイルの変更】

- ① 18ホールスループレーの導入
全組をスループレーとするケース・プレーヤーの要望によって対応するケース
- ② 9ホールプレー
- ③ 1ラウンド制限
- ④ 2サムプレーの奨励

【レストランを閉鎖】

- ① 全組をスループレーとしているゴルフ場
- ② 事前予約等による弁当提供
- ③ 飲食料品の持ち込みを認め、テラスや屋外での飲食を許可

【レストランを営業しているゴルフ場での対応】

- ① 昼食時のみ営業
- ② テーブル数を減少させ、社会的距離2メートル（ソーシャルディスタンス）を確保。
- ③ コンパルールの閉鎖。（多人数での個室使用を廃止し、リスクを軽減）
- ④ レストランの換気を確保（常時、或いは、定期的。クラブハウス全体も含む）
- ⑤ バイキング形式の飲食提供の中止
- ⑥ 使用済みのテーブルを各組ごとに消毒

レストランの営業については、複数の対策を合わせて実施しているゴルフ場が多い。

【浴室・脱衣室の閉鎖】

- ① 浴室・脱衣室を閉鎖
- ② 浴槽を閉鎖し、シャワーのみ使用可

【乗用カートの使用について】

- ① 2名に1台として、4サムには2台使用とする。（安全対策の徹底が必要）
- ② 乗用カートのフロントガラスを空けたままで使用
- ③ 乗用カートへの乗車人員の制限（運転者のみ乗車可として、他のプレーヤーは歩行）

【組数制限や営業スタイルの変更等・・・接触機会の低減】

- ① 早朝・薄暮プレーの廃止・スタート間隔の拡大
- ② 会員同伴に限定、プライベートコンペの受付停止
- ③ セルフ化の推進（ゴルフバッグの積み降ろし）
- ④ クラブハウスの使用エリアの縮小（ロッカールーム等）
- ⑤ 入場時・会計時のソーシャルディスタンスの確保
- ⑥ プレー中でもマスク着用を依頼

以上のように様々な取り組みを複数組み合わせ、「新型コロナウイルス感染症対策」が実施されており、感染リスクを可能な限り最小化する試みが行われています。

ゴルフ場業界においても、従業員並びに来場プレーヤーの新型コロナウイルス感染事例も報告されており、感染リスクの低減に向けた対応策の立案と徹底した実行が求められています。